

まちの話題



▲和やかな雰囲気の中にも真剣勝負が繰り広げられました

▶1番ホールティースhots 59歳以下3位 森 おさむさん



第67回県民体育大会ゴルフ競技多久市代表選手選考会（主催：佐賀県、多久市、多久市教育委員会、佐賀県体育協会）が、6月8日(日)に佐賀クラシックゴルフクラブで開催され、天候にも恵まれた絶好のゴルフ日和のなか、114人のアマチュアゴルファーが、秋に行われる佐賀県民体育大会多久市代表を目指し、熱戦を繰り広げました。

大会の成績は以下のとおりです。

・59歳以下の部

- 1位 梶原 憲幸
- 2位 小松 信幸
- 3位 森 おさむ
- 4位 瀬戸口 洋
- 5位 丸田 和義

・60歳以上の部

- 1位 白木 直人
- 2位 西山 巨三
- 3位 内野 和久
- 4位 米原 孝

・女子の部

- 1位 香月まさえ
- 2位 吉田 弥生
- 3位 秋次 万里

※敬称略

県体大会代表選手を目指して、ナイスショット！

佐賀県民体育大会ゴルフ競技多久市代表選手選考会

6月16日、多久ロータリークラブの南里保和会長らが市役所を訪れ、市内各小中一貫校へ約10万円相当の図書74冊を中川正博教育長へ贈呈しました。

図書の贈呈は今回で8回目の取り組みで、図書は各一貫校の司書が、児童生徒の興味・関心の高いものや蔵書として不足しているものを選んでものです。南里会長は「子どもたちが1冊でも多くの本を読んで、これからの知識の習得の一助になれば」とあいさつ。

贈呈を受けて中川正博教育長は「市では全校で『朝の読書』や『家読』に力を入れ、読書の習慣づけに取り組んでいます。各校の特色ある図書を、子どもたちが夢や想像力を養う教材として活用します」、また一貫校を代表して西溪校の今泉弘校長が「読書を通じて新しい知識を得ることで子どもたちの視野が広がります。しっかり活用します」とお礼を述べました。



▲多久ロータリークラブの南里会長（写真中央）より図書の贈呈を受ける中川教育長（写真右から2番目）

多久ロータリークラブ 図書贈呈式

子どもたちが夢や想像力を養う教材としてしっかり活用します



▲学校毎に特色ある図書が贈呈されました

6/15 Sun.

新入団員を対象にポンプ操作講習会を開催



消防ポンプの適切な操作と、災害現場での迅速な対応力を養う目的で、東多久町の羽佐間河川敷を会場に、新入団員を対象にした講習会を開催しました。

会場では、多久消防署員やポンプメーカーらによる車両点検時の確認事項や、適切な操作のための講習会を実施しました。その後実際にポンプを操作して吸水から放水までの流れを実践。新入団員らは、先輩団員からアドバイスを受けながら操法技能の向上に励みました。

6/14 Sat.

老後のカネは渡さん！第1回家族介護教室開催



家族介護教室が社会福祉会館で行われ、民生委員や一般市民など約20人が参加し、悪質商法への実践的な対処法、地域社会全体での見守り・支援の大切さを学びました。

教室では、吉田紀美子消費生活相談員を迎え、『消費者被害にあわないために』というテーマで、4月に市内で実際にあった未遂事件の概要と点検商法等の手口を紹介。

また「高めよう！見守り力」というDVD観賞や、市職員による催眠商法の寸劇など多彩なメニューで、参加者は消費者トラブルにならないための知識を習得しました。